

〇〇の中間評価結果

平成〇〇年〇〇月

科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
航空科学技術委員会

科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会
航空科学技術委員会委員

	氏名	所属・職名
主査	杉山 武彦	国立大学法人一橋大学長
	石田 寛人	金沢学院大学長
	大林 茂	国立大学法人東北大学流体研究所教授
	越智 信夫	朝日航洋株式会社顧問
	河野 通方	国立大学法人東京大学名誉教授
	鐘尾 みや子	社団法人日本女性航空協会理事長
	知野 恵子	読売新聞東京本社編集局解説部次長
	萩原 太郎	日産自動車株式会社先行車両開発本部 F C V開発部長
	松尾 亜紀子	慶應義塾大学理工学部機械工学科准教授
	宮部 俊一	社団法人日本航空宇宙工業会常務理事

〇〇課題の概要（※ポンチ絵でも可）

1. 課題実施期間

平成××年度～平成△△年度

2. 研究開発概要・目的

事前評価及び中間
評価を踏まえ記載

3. 研究開発の必要性等（※必要性、有効性、効率性を記述）

中間評価
実施年度

4. 予算（執行額）の変遷

年度	HXX(初年度)	…	H〇〇	H〇〇	H〇〇	翌年度以降	総額
執行額	〇〇億	…	〇〇億	〇〇億	〇〇億	〇〇億 (見込額)	〇〇億 (見込額)
(内訳)	科振費 〇〇億 〇〇費 〇〇億	…					

5. 課題実施機関・体制（※関係省庁、国内外研究機関、業界等を記述）

6. これまでの成果（※または進捗状況・達成状況）

7. その他

中間評価票

(平成〇〇年〇〇月現在)

1. 課題名

2. 評価結果

(1) 全体評価

<視点>

1. 必要性

(意義・目的) ; 昨今の社会情勢や国際動向を踏まえた上で、現在及び将来の社会ニーズや要請に適切に応えていくため、わが国として必要な研究開発か
(ポイント) 国またはその分野において必要な研究開発か、
研究開発の方向性は正しいか

2. 有効性

(イ) 目標・効果等 ; 研究開発の目標が、意義・目的を満足し、その成果及び途中得られる効果を社会に還元していくことを意識して、適切に設定されているか
(ロ) 進捗 ; 目標達成に向けて、研究開発が着実に進捗し、効果が発現しているか
(ポイント) 目標管理、進捗度は適切か

3. 効率性

(イ) 実施体制 ; 上記の必要性、有効性を踏まえ、適切に構築され、機能しているか
(ロ) ロードマップ ; // 適切に管理されているか
(ハ) 資金計画 ; 上記の必要性、有効性に見合っているか。また、効率化の取組みが適切に行われているか。
(ポイント) 運営方法 (マネジメント)、投入資金は適切か

4. 総合評価

; 研究開発を今後も継続してよいか。変更すべき点はないか
(ポイント) 評価結果 (継続・中止・方向転換) の明示

(2) 個別評価

※出された主な個々の意見の集約

(3) その他

※今後研究開発を進めるにあたっての統一的な注意点等